

野球の神様

先日、地元の郡山公民館から主催事業である「**八重大学**」の講演講師の推薦依頼がありました。私は、本校にはいろいろな才能を持った先生方がいるので大変迷いましたが、渡邊教頭先生を推薦することにしました。

昨年度まで本校におられた前田教頭先生（現在 枕崎高校教頭）は、理科が専門で県の天文学研究会の会長を務めています。今年度着任された渡邊教頭先生も同じく理科専門ですが、部活動顧問として活躍されていたのを知っていましたので、是非にと推薦しました。

講演後、郡山公民館の田畑館長さんからお礼とともに「教頭先生のお話に感動して涙がでました。」との電話をいただきました。

素晴らしい講演だったとのことで、私自身も嬉しくなり、その内容をお聞きすることでした。

実は、教頭先生は、野球部監督として県立大島高校を率いて2014年3月開催された「**第86回選抜高校野球大会（春の甲子園）**」に出場しています。平成から令和にかけて、県内の公立高校で甲子園に出場した学校は、鹿児島工業高校、鹿児島商業高校と大島高校の3校のみです。

当然、離島からの甲子園出場は初ということになります。その経験があるからこそ、私も是非今回の講師にと推薦をしたところでもあります。

その大会には、私も当時の六反県教育長の随行として、日帰りで甲子園に応援に行きました。渡邊監督と話すことはありませんでしたが、その時に教頭先生とは会っていることになりますので、これも不思議な縁です。

いよいよ夏の甲子園予選が始まります。

本校野球部は、練習はもちろんですが、朝の挨拶運動をはじめ清掃やボランティア活動に積極的に参加しています。また唯一の女子部員として羽島マネージャーの孤軍奮闘ぶりには、いつも感心しています。

私は、そんな本校野球部に、野球の神様がいつか微笑んでくれるだろうと期待をしています。



←右端ユニフォームが

教頭先生

後ろはアルプススタンドの大応援団